



- ② 見直しによる選択肢としては、a.) 強化、b.) 維持・継続、c.) 縮小、d.) 撤退・譲渡等が考えられる。更なる生産性の向上やコスト削減、アライアンス等についても検討を行う。
- ③ 上記①・②の検討結果を踏まえ、経営資源の再配分、事業の選択と集中を実施する。

(3) 構成メンバー等

- ・取締役会が検討し、決定する。ワーキンググループとして事業（テーマ）ごとに執行役員・部長等数名を選任する。
- ・FA、会計士、弁護士等の専門家を必要に応じ活用する。
- ・株主からの提言、株主とのディスカッションを検討プロセスにおいて歓迎する。

（ただし、当社の重視する中長期的な企業価値の向上、株主共同の利益、ステークホルダーの利益を考慮せず、「解体型買収」を企図し、自己の短期的利益を追求することが強く推認される 株式会社レノ及びそのグループを除く）

(4) 検討期間・結果の公表

- ・2020年4月を目途に、検討結果を取り纏め公表する。

3. 抜本的な事業戦略再構築の検討結果を反映した事業計画の策定

当社は、施工不備問題の解決、及び抜本的な事業戦略の再構築を検討し、実行することにより、ステークホルダーの信頼回復を実現し、業績回復を確固としたものにいたします。

2020年5月を目途に抜本的な事業戦略再構築の検討結果を反映した事業計画を策定し、公表いたします。

以上